

九州地方の火山活動解説資料 (平成 18 年 10 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態にあった火山
- ：解説を掲載した火山
- ：その他の火山

この資料は、気象庁のデータの他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)。

九重山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

南阿蘇村吉岡の噴気が強くなり、15～16日と21日に泥などを噴出しました。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山

[御鉢 静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

[新燃岳 静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]

南岳山頂火口では小規模な噴火や爆発的噴火が観測されましたが、昭和火口からの噴火は観測されませんでした。火山性地震や火山性微動はやや多いものの、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]

地震活動、噴煙活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]

火山性地震はやや多く、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]

噴火や爆発的噴火が時々発生し、火山活動は活発な状態で経過しました。

注1 本資料中で記したレベルとは、現在12火山(うち九州地方及び山口県では8火山)に導入している火山活動度レベルをいう。

今月及びこれまで公表した火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料の公表は、12月11日(月)の予定です。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表時間	概要
阿蘇山	火山観測情報第 6 号	25 日 11 時 50 分	南阿蘇村吉岡の噴気地帯で噴気が強まり、少量の泥などを噴出しました。引き続き噴気活動に注意が必要です。
口永良部島	火山観測情報第 2 号	27 日 15 時 00 分	やや活発な状態(レベル 2) 火山性地震や火山性微動がやや多くなり、火山活動はやや活発で経過しました。